

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	令和元年度 第1回入間市人権教育推進協議会
開 催 日 時	令和元年7月18日(木) 午前10時00分開会 午前11時40分閉会
開 催 場 所	入間市役所B棟5階 全員協議会室
議 長 氏 名	山口忠友
出席委員(者)氏名	菅野義彦 齋藤勝久 山田達雄 山口忠友 齊藤俊明 大島光恵 笹尾 彰 橋野弘美 矢口洋子 手島吉紀
欠席委員(者)氏名	古谷 進 遠藤 敏 本橋克則 中沢ますみ 寺岡豊博
説明者の職氏名	関谷社会教育課主幹 大橋社会教育課主事補 木元学校教育課教育センター主幹 町田人権推進課副主幹
会 議 次 第	第1回人権教育推進協議会 1 開会 2 あいさつ 山口忠友会長 西澤泰男教育長 3 事務局紹介 4 入間市人権教育推進協議会について 5 協議事項 (1) 性的少数者の人権について (2) 令和元年度事業計画について 6 その他 7 閉会
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	新見教育部長、関谷教育部次長、片寄社会教育課長、関谷社会教育課主幹 大橋社会教育課主事補、植竹社会教育指導員、木元教育センター主幹 町田人権推進課副主幹

## 会 議 録 ( 2 )

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 ) ・ 決 定 事 項

#### 第 1 回 人 権 教 育 推 進 協 議 会

##### 4 入間市人権教育推進協議会について

関谷主幹より

資料 1 頁 入間市人権教育推進協議会について

##### 5 協議事項

- (1) 性的少数者の人権について
- (2) 令和元年度事業計画について

##### 6 その他

###### ・ 今後の会議日程について

第 2 回 日時：令和元年 11 月 5 日 ( 火 ) 14 時 30 分～16 時 30 分

会場：入間市役所 C 棟 4 階 入札室

第 3 回 日時：令和 2 年 1 月 30 日 ( 木 ) 10 時 00 分～12 時 00 分

会場：入間市役所 B 棟 5 階 全員協議会室

会 議 録 (3)

発言者	発 言 内 容
山口会長	<p>5 協議事項</p> <p>入間市人権教育推進協議会規則により、会長が会議の議長となるので議長を務めさせていただき、委員の皆様のご協力をよろしくお願いする。協議事項(1) 性的少数者の人権について事務局より説明をお願いする。</p>
関谷主幹	<p>今年度1年間は性的少数者の人権について取り上げていきたいと考えている。その前に人権問題全体について説明する。資料9頁に近年の埼玉県における人権課題を載せているが、平成14年に女性の人権をはじめ10の課題をあげている。平成24年に様々の人権問題の中から、インターネットによる人権侵害、北朝鮮当局による拉致問題、災害時における人権への配慮の3つの人権課題が付け加えられた。さらに、平成28年より、性的少数者の人権を分野別人権課題の1項目として立ち上げるようになった。本市では、この動きに対し、平成28.29年度にインターネットによる人権侵害について人権教育推進協議会で提言をまとめた。また、平成30年度の人権啓発講座で、北朝鮮による拉致問題に関する講義を実施し、本年度では、災害時における人権への配慮に関しての人権問題講演会を実施する予定である。そこで、令和元年度の人権教育推進協議会では、性的少数者の人権について研鑽を深め、提言をまとめようとするものである。回数が少なく、会議だけでは難しい部分もあるので、事前に資料を配り、理解を得てもらって1年間でまとめていきたいと考える。</p>
山口会長 笹尾委員	<p>まず、『LGBTを知ろう』というDVDを見ていただく。(約18分)</p> <p>ただいま事務局から説明があったが、委員より、ご意見をお願いする。</p> <p>私はほとんど無知の状態であるが、入間市のホームページにあるように性のあり方の多様性は理解できるし、もう少し知りたいと思う。ところで、入間市における電話や窓口の相談の状況はどのようになっているのか。また、県のアンケートで「性的少数者に対する差別や偏見のない社会を実現するために必要なこと」に対し、必要なことは「学校現場における理解の促進」が最多であるが、市内の学校現場での取組はどのようになっているのか尋ねる。</p>
山口会長 町田副主幹	<p>人権推進課どうか。</p> <p>人権推進課で性的マイノリティについて担当している者です。個別な事案は差し控えさせていただき、相談内容の主なものは、当事者が周囲の人に理解されずに悩んでいることや先入観や偏見をもたれるということなどである。また、日々の相談活動の中で、仕事や家族の悩み、出会いの悩みなどと同じものと捉えている。</p>
山口会長 木元教育センター主幹	<p>学校教育課どうか。</p> <p>学校教育課としては、管理職に対しLGBTの研修を組み込んでいる。また、学校へ赴いて保護者対象に講演会を実施している。そのほかにそれぞれの学校で教員向けに研修を実施している場合もある。</p>
山口会長 橋野委員	<p>橋野委員どうか。</p> <p>私は、LGBTについてよく耳にするが、実際のところよく分かっていない。その</p>

ことが自分自身の問題だと思っている。LGBTが横文字なので理解することが難しい。20年程前、小学校で1年生の担任をしている時に、ある女の子がズボン履いていて、ショートカットで男子児童とばかり遊んでいる姿を見て、小さいから男女なんて関係ないのだろうと思っていた。しかし、4年生になって再び担任した時に、全く同じ状況だった。言葉遣いも「お前らこうするんだよ、向こうへ行こうぜ」ということを言っていたり、身体も大きく威圧的であったので他の男子もそれに続いていくような状況であった。勉強中も「お前ら静かにしろよ」という声を発していた。私は、この頃LGBTについては知らず、この子はどうなってしまうのだろうと危惧していた。誰にも相談することなく、その子をじっと見ていた。その子は5・6年生でも同じ状況であった。中学、高校と進学してその子はカミングアウトしたらしいと聞いたが、「それって何」という感じであった。当時の私は、LGBTについて理解が浅く、自分では偏見があったので、もう少しその子のことを理解してあげていればよかったと反省している。退職後いろいろな研修を受け、知識として大分増えてきた。また、学校での対応も聞き、安心している次第である。無知ほど危険なことはないということを感じている。理解を深める研修を進めていけたらよいと考える。

山口会長  
矢口委員

矢口委員どうか。

今回はLGBTのことを中心に取り上げていくが、LGBTだけでなく、もっと広く、一人一人の存在が大切だということに気づいていかなければならないと感じる。この世界は多数決の原理だけでなく色々なことに関わり合いながら生活していくことが重要である。根本的なことを見逃しているのではないかと思う。国同士のけんかが起きているが、もっと広い意味で、人間同士助け合って生きていかなければならない。人間としてこの地球に生まれてきた尊厳がある。人間は何をしてきたかという、自然破壊をしたり、温暖化の原因を作ったりしてきた。個々の人間力として素晴らしいものはあるが、それをよい方向に引っ張っていける教育をこれからも私たちも含めしていかなければいけない。それを育てていく私たちが手本となって、また、先人として、人間としてどう生きるか、例えば、ウソをついてはいけないとか、世のため人のために働くなど広い意味で人としてどう関わっていくということになる。よりよい世の中を作るために一人一人が生きていて、色々な特徴を持った人が集まって有効に機能し合っていく世の中になっていかなければならない。だから、少数を無視するのではなく、広い意味の人間愛が必要である。そのためにはまずは知識、知ることが大事である。カミングアウトした母親のお話を聞く機会があったが、カミングアウトを受け入れて、お互いが認めていける社会を構築していくようにする。

山口会長  
手島委員

手島委員どうか。

性的少数者の人権についての問題点を最初は何を書いてよいかわからなかったが、県の人権課題の中で新しいものだという説明によってそれについては理解ができた。私は個人的には違和感があって、他の人権は本人の内部とは関係がなく、生まれや育ちなどと本人には責任のないところで起きた人権問題と捉える。LGBTは本人の指向の問題であって、それを人権として捉えるのはピンとこない。私は、LGBTに関

	<p>する教育を受けていないので、人権と結びついていなく、教育を受ければ変わって分かってくるのだと思う。去年も講演会を聞いたが、屁理屈になるかもしれないが、例えば、トイレはLGBTの人のために皆個室にしてという話があった。そうすると男女が一緒になり、女性が使いづらくなる。また、小便器をなくすと回転率が悪くなってしまう。私の感覚としては変だと思う。そういうところを考えると個人的には分からない。小さな時からLGBTの教育を受け、社会的な偏見がなくなればいいのだろうと考える。LGBTの人権に関しては、まだ何とはなく違和感がある。</p>
山口会長	<p>私たちのLGBTの人に対する理解が全体的に不足していると感じる。受け入れる社会をつくっていかねばいけないと考える。</p>
手島委員	<p>言われのない批判はかわいそうだと考える。それと個人の感情とは捉え方が違うのではないか。</p>
山口会長	<p>大島委員どうか。</p>
大島委員	<p>カミングアウトができたならもう少し配慮が必要ではないか。実際にカミングアウトするのに何年もかかっているし、偽りの人生を送ったり、家族も何かおかしいと感じながら生活してきた状況である。しかし、カミングアウトできたなら少し心が軽くなるのではないだろうか。それに伴う色々な問題が発生すると思う。資料を見ると、いじめ、不登校、引きこもり、自殺を考えたことがあるなどの問題がある。公表できる環境を整備できたらよいと思う。多数派だけではなく、少数派の方の体験した例などをお話していただける機会があるとよい。公表するには勇気が必要だったと思うし、戸惑いもあったと思う。自身の経験を次の人に役に立つようなこともあるかと思う。私たちが不要に発した言葉がその人を傷つけていたかも知れないし、カミングアウトした人に意見を聞けたら参考になるのではないだろうか。私たちも考えて、環境整備をしていきたい。そうして一人でも多くの方がカミングアウトして自分らしい生き方ができたら良いと考える。</p>
山口会長	<p>斉藤俊委員どうか。</p>
斉藤俊委員	<p>性的少数者の人権を認める根拠は、個人の尊重と幸福追求権にあると思う。差別、区別するのではないと思う。「生産性がない」とか、「女性は子どもを産む機械」であるという政治家の発言もあったが、人間の一生の中で「生まれる - 育てる - 後輩を育てる - 死ぬ」の中で育てる部分が難しいのではないか。養子をとるとか里親になるなどして育てることは可能であるが、直接的にLGBTはマジョリティの部分から考えると難しいのではないだろうか。そこが強調されると差別的な発言が生まれてくるのではないだろうか。それを認めていくには社会の寛容度が必要であり、知るとか教育を受けるなどが重要であり、無知が一番まずいのである。小さいころから知っていくことであり重要である。一種の個性であり、おかしいことではないという認識を持つことになれば、区別・差別がなくなる。社会を維持していくためには育てるということが重要である。そこに引っかかるから差別が生じているのではないか。それを改善するにはどうしたらよいか、この協議会で考えていければよいと考える。</p>
山口会長	<p>「産むための機械」であるとか、政治家の中にも問題発言する人が多い。山田委員</p>

<p>山田委員</p>	<p>どうか。</p> <p>私は、具体的にLGBTの方々に接触することがなく、詳しいことは言えないが、考えていかなければいけない問題である。LGBTの人がカミングアウトする場合、言い出しにくいかもしれないが、やってもらわないと先に進まないと思われる。また、理解を示そうとする人たちも増えている。私は身体障害者で松葉杖をついているのですぐわかるが、聴覚に障害がある人は言ってもらわないと見ただけではわからない。LGBTの人もカミングアウトしていないのでよくわからない。社会で受け入れらようとしているのだから、周囲の人たちに向けて説明を進め、意見を言えたり要望を言えるような状況を作っていかなければならない。本人は勇気が必要で色々とも問題があるが、「よろしく願います」等発信してもらいたい。私たちの方も受け入れる技量を持っていくことが必要である。このような協議会ではそのような人達が多いということを知らせることが大切だと考える。有名人でも一度公表すると周りの人は理解が進む。当人は勇気があることだが、公表することによって信じられる人もいるということを知らせるということが大事である。</p>
<p>山口会長</p>	<p>LGBTは本人が話さないと周りの人には分からない。かといって、カミングアウトを強制することもできない。なかなか見えないものである。斉藤勝委員どうか。</p>
<p>斉藤勝委員</p>	<p>LGBTという言葉が私の耳、頭に入ってくるようになったのはここ2～3年のことである。私が思うには、時代の流れなのか全体的な風潮なのかよくわからない。このことを世の中全体として理解していかなければいけないことはわかる。しかし、これは人権として捉えてよいかどうか今の段階では疑問に思う。例えば「男の人権」とはいかなるものだろうか。LGBTの権利については現段階としてはあまりよく理解できない。生まれもってそういう方もいるように、またこれがある年齢にいつからそうなる方もいるだろうし、例えば70～80歳でこうなった人はどうするのだろうと考えなくてはいけない。海外の人がどうかよく分からないが、日本では比較的若い人が発言しているようだ。例えば婚姻の問題などがそれにあたる。その人が70～80歳になった時にどう感じるのか考えていかなければならない。自分としては理解していきたい。自然界で考えていくと難しいもので、助長していくものではないと考える。理解するもので広めていく部分では少し疑問が残る。</p>
<p>山口会長 菅野委員</p>	<p>菅野委員どうか。</p> <p>高校の現場では、ここ10年でLGBTについて職員研修が手厚くなっている。初任者、五年次、十年次研修等必ず実施している。本校としても、昨年度職員研修として、日本フェミニストカウンセリング学会から講師を招いて指導してもらっている。生徒に対しては、ここ10年来取り上げるようになって、LGBTの知識を得るよう指導している。例えば、生徒に聞いてもTは何の省略なのか理解しており、定着していると捉えられる。現実には、トイレ、更衣、制服など自分で何とかしているのが現状であり、多目的トイレはあってもほとんど使用されていない。入るのに抵抗感がある。形としてはあるが使われていない。また、LGBT以外の他にQの人もいる。モヤモヤしていて、自分がよく分からない、これからどうなってしまうのだろうと不安</p>

山口会長	<p>を抱えている生徒は結構多い。教員の立場としては、カミングアウトした方がよいと思うし、カミングアウトの環境をつくり、開かれた社会になっていくよう環境づくりに努めていきたい。ただ生徒としては、カミングアウトしたいという生徒もいれば、自分では認めたくないという生徒もいるように苦しんでいる。みんながカミングアウトしていこうというのは少し極端ではないだろうか考える。</p>
西澤教育長	<p>カミングアウトは本人として非常に難しい問題として捉えられる。西澤教育長どうか。</p> <p>LGBTの問題で重大なのは自殺の問題である。学校で困った場面としては、慎重に扱わなければならない。カミングアウトについては本人が一番言えないのは親である。親に言えないために困って、学校で養護の先生に話したり、本で勉強したりして自分はこののだと感じている。そのあと親に話していいですかと確認して親に知ってもらおう。そして学校生活を考えていく中で、いきなりカミングアウトするのではなく、その前に全校生徒に教育してからということになろう。いきなりするといじめの問題などが出てくる。集団を指導して、受け入れてもらう環境をつくっていくことが重要である。</p>
山口会長 笹尾委員	<p>現在、色々な学校で取り組んでいるものとして制服の問題がある。制服については、女子に対して寒かったらズボンを履いてきててもよいとしたり、活動的な女子はズボンを履いてきててもよいということにしている。そういう形にしている学校も市内にはある。スラックスでなくてズボンはどうかというと女子のスラックスは価格が高い。現在は安価で作れるよう対応中である。LGBTの女子にすれば、スラックスを履きたいのではなく、男子のズボンを履きたいのである。と言ってくる場合もあり個々様々であり対応も難しい。また、部活動に関しては、野球部に関しては男女関係なく女子の野球部員もいるようにどんどん環境も変わっている。LGBTとは関わりがないかもしれないが、男女一緒の環境が整いつつある。トイレの問題は難しいが、本人がカミングアウトすると職員トイレの使用を可にしている。現実としては多目的トイレに入るには勇気がいる。怪我をしているような場合や車いすの場合のようにわかる場合はよいが、普通の子はなぜあの子は使うのだろうかと言われてしまうケースが多い。また、修学旅行での風呂やトイレの問題もあるが、適切に対応している。男女混合名簿の作成などの課題がある。</p>
手島委員	<p>他にないか。</p> <p>LGBTは本人の「指向」という捉え方で考えると、人権問題ではないのではという考え方はどうか。</p> <p>人権問題でないと否定はしていない。私が少し疑問に思っていることを話ただけである。</p>
笹尾委員	<p>本人の指向であればここで議論する問題ではない気がする。カミングアウトできる雰囲気がない。あるいは実際にそうしたいなど単なる本人の指向の問題ではない。女子が野球をしたいなどは指向であるが、入れる部活動がないその場合男子と一緒にやるこれは本人の指向である。それよりもっと深刻な問題があるのではないだろうか。</p>

<p>山口会長 齊藤俊委員 山口会長 大橋主事補 木元教育センター主幹 町田副主幹 山口会長</p>	<p>単に本人がしたいからやっているのだと捉えてしまえばここで取り上げるものではないと考える。</p> <p>他にあるか。</p> <p>LGBTのうち、LGBは本人の性的指向で、Tは頭と体が一致していないので性と身体が不一致しており、内面的なものだけではないと捉えている。</p> <p>色々な意見をありがとうございます。次に、協議事項（2）の令和元年度人権教育事業計画について事務局より説明をお願いします。</p> <p>社会教育課の計画を説明する。資料 18 頁を参考にされたい。購入予定DVDについては消費税増税前に購入予定で現在検討中である。</p> <p>学校教育課の計画を説明する。資料 19 頁を参考にされたい。授業研究会については、小学校、中学校各 1 校で授業研究会の予定である。</p> <p>人権推進課の計画を説明する。資料 20,21,22 頁を参考にされたい。男女共同参画関係部門と市民相談室関係で取り組んでいる。</p> <p>以上の人権計画についての質問はあるか。なければこれで協議事項を終了し、議長の任を解かせていただく。ご協力に感謝する。</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和 元 年 8 月 16 日</p> <p>議 長 の 署 名 <u>山口忠友</u></p>	